



イノシシの被害を防ぐために

近年イノシシの生息域が急速に拡大し、それに伴い農作物等への被害も広がりを見せています。

被害をなくしたいがどうしたらよいか、対策をしたのに被害が続いているなどでお悩みの方はいませんか？



イノシシによる被害

イノシシによる被害は、作物への食害だけでなく、耕地の掘り起こし、土手や水路を崩すなど農業基盤への被害もあります。

これらを放置すると被害はエスカレートし、エリアも拡大してしまいます。



これらを食い止め、イノシシ被害に強い地域づくりを進めるには？

イノシシの習性を知る

イノシシ被害を防ぐためには、まずイノシシの習性を知ることが重要です。相手の習性を知れば、より効果的な対策を取ることができるようになります。それぞれの対策の目的を十分理解して実際の取組を行うことが大切です。

【習性その1 イノシシは夜行性ではありません】

イノシシは夜間に活動しているイメージがありますが、夜行性の動物ではありません。人間が活動している時間帯は警戒して身を隠しているだけです。警戒心がなくなれば日中も行動するようになります。



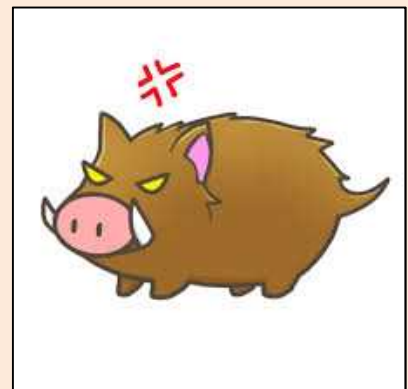
【習性その2 イノシシは臆病な動物です】

イノシシは臆病で用心深い動物です。人間の気配や違和感を感じれば出てこなくなります。障害物などは初めてのものには警戒しますが、馴れてしまうと警戒しなくなります。



【習性その3 臆病なイノシシも いざとなったら凶暴です】

臆病で警戒心が強く人間の前では身を隠す習性であっても、窮地に立ったイノシシは凶暴な野生獣になります。わなに掛かっていたり、何かの拍子に住宅地に迷い込んでパニックになったイノシシは人間に向かってくるので細心の注意が必要です。



イノシシ被害への対策

イノシシ被害を防ぐため、3つの対策を進めましょう。

① 環境づくり

耕地周囲のヤブを刈り払いイノシシの隠れ家をなくしたり、収穫しない放任果樹(カキ、クリなど)は除去しイノシシのエサをなくすなど、まずはイノシシが出没しにくい環境をつくることが基本です。

◆ヤブの刈り払い



農地に接した
山裾のヤブを刈り払う
ことにより



イノシシが農地に
近づきにくい環境
が形作られます



特に竹ヤブはイノシシの隠れ家となるばかりではなく、大好物のタケノコがイノシシを寄せ集める原因となります。

抜き伐りして見通しを
良くするほか、管理
しない竹林は思い
切って伐採しましょう。



◆竹林整理



◆不用果樹の整理

お近くに放置されたクリやカキなどの果樹はありませんか？



クリの木、カキの木、ウメ、
イチジク、キウイなどの果樹、
あるいはクルミ、ドングリ
などの実のなる木も…



**果樹や実が落ちてくるのをイノシシは待っています
収穫しないものは思い切って伐ってしまいましょう**

◆生ゴミ等の適切な処分



**生ゴミや放置野菜などもイノシシのエサです
適切に処分しましょう（電気柵内への放置は厳禁！）**

② 抑 止

イノシシが耕地内に入れなくするため、ワイヤーメッシュ柵や電気柵などを設置します。



ワイヤーメッシュ柵

直径5mm程度の鋼線を溶接した金網を、鉄筋支柱等に針金で結束した柵。金属の金網でイノシシの侵入を抑止するため、高い被害防除効果が期待でき、設置後のメンテナンスも比較的容易です。

一方で、電気柵に比べ資材費用や設置労力がかかります。

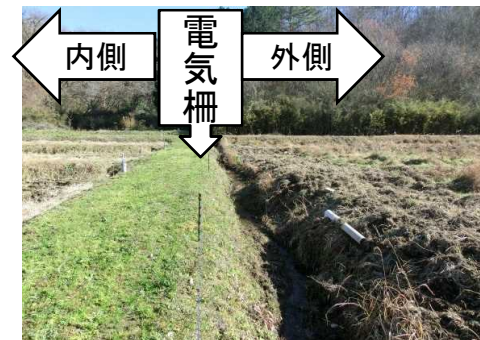


電 気 柵

金属線を編み込んだ電牧線に電流を流し、線に触れたイノシシが感電ショックを受けることで柵内への侵入を防ぎます。

電牧線の設置は比較的容易ですが、確実な効果を発揮するための機器の設置、付近の刈り払いや通電状況の確認など日ごろのメンテナンスが必要になります。

当然のことながら感電による人への危険を及ぼさないよう、法令の規定を遵守するとともに、注意表示等を十分に行いましょう。



いずれの柵も十分な抑止効果を発揮するには設置や管理についてコツや注意点があります。専門家のアドバイスを受けて実施しましょう。

③ 捕 獲

ヤブの刈り払いや柵の設置などの対策を行った上で、被害を引き起こす恐れのあるイノシシは捕獲し駆除します。



箱わなでの捕獲

attention!!

イノシシを捕獲するには狩猟免許が必要です。また捕獲したイノシシの処理についても予め決めておく必要があります。

狩猟免許の取得

狩猟免許には網、わな、第一種猟銃、第二種猟銃の4つの区分があります。近年イノシシの捕獲駆除のために取得する方が増えている「**わな免許**」の取得について簡単に御紹介します。

【免許取得からイノシシ捕獲までの流れ】

一般的には、**狩猟免許試験申込み** → **事前講習会受講** → **試験(7月～)**
→ **わなの購入・製作** → **狩猟者登録(10月～)** を経て捕獲が可能となります。

【免許取得から捕獲までの費用】

一般的には、**狩猟免許取得に約15,000円、狩猟者登録に約10,000円、狩猟者保険に約15,000円、計40,000円程度**が必要です。

また、**わなや止め刺し、イノシシの解体等に要する道具の購入・製作に別途費用**が必要となります。

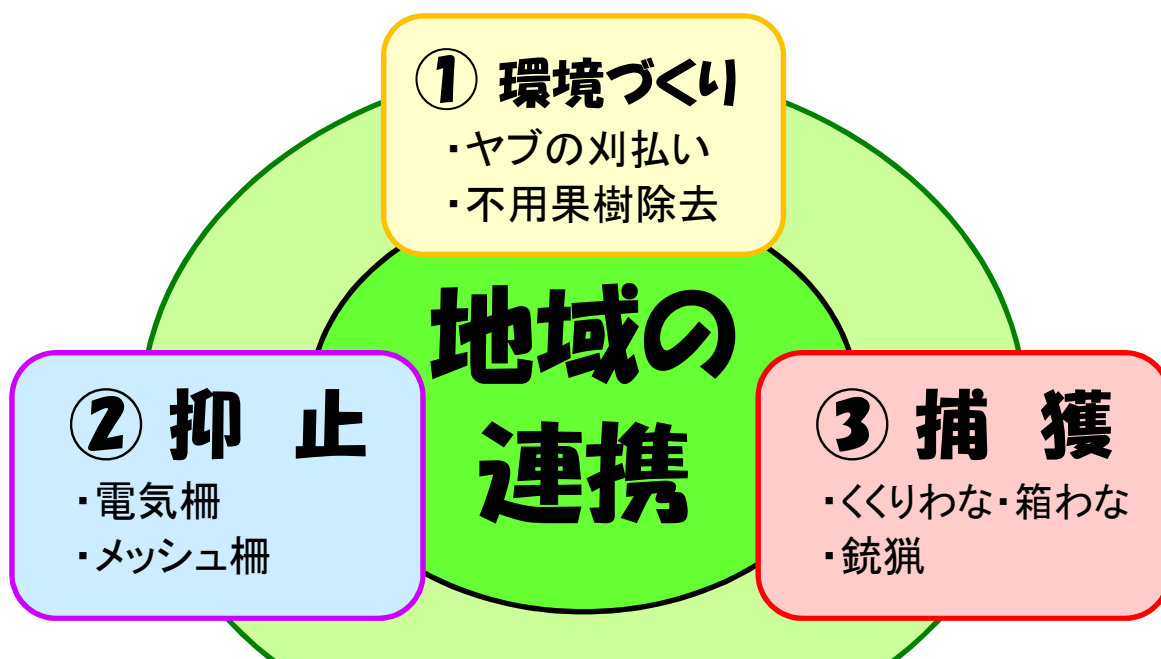
実際のイノシシ捕獲に際しては、法令を遵守することはもちろん、わなの設置や止め刺しなどに相当の技術と経験が必要になります。必ずベテランの方の指導・アドバイスを受けて実施してください。



イノシシ被害を防ぐ

①環境づくり、②抑止、③捕獲、の3つの対策のうち、どれか1つを行うだけでは、イノシシ対策の効果は不十分です。

【3つの対策を組み合わせて行うこと】、【地域全体で取組を進めていくこと】、さらには【取組を継続して行うこと】が大切です。



対策の連携と継続

電気柵は、

- ・地面から適正な間隔(20cm)を
- ・アース棒の設置の仕方が重要
- ・24hと時間帯通電を分けるには...

わなを仕掛けるには、

- ・住民、狩猟者の安全、事故防止が第一
- ・注意標識は見やすい場所に
- ・わな掛け2割、止め刺し8割とも...

そうは言っても
難しそうだよ...



対策をしてるけど
被害が減らないよ...

県や市町ではイノシシ被害対策に関する各種助成、防護柵設置技術や捕獲技術向上のための講習会開催なども行っています。お住まいの県・市町の獣害対策担当窓口

一度相談してみてもいいかが？